

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
包帯固定学							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	1年	後期	伊藤 恵里		○		
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数		
専門分野	臨床柔道整復学		実技	2			
科目概要							
<p>柔道整復の基礎技術を身に付ける。</p> <p>主に、固定法における目的、役割、固定材料の種類を理解し、基本包帯法を巻くことができる。 (「臨床実習前施術試験等」として実習における態度・マナーを身に付けることができる。固定材料等の取扱い方を理解することができる。)</p>							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	臨床現場で必要不可欠な固定における包帯技術の基本を身につけるとともに、現場で必要なマナーや態度を身につける。						
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	①固定法の重要性を理解し説明することができる。 ②包帯の取り扱い方法を習得する。 ③包帯の管理方法を習得する。 ④基本包帯法を習得する。 ⑤実習及び実技授業中の態度・マナーに気を付け積極的に行動することができる。						
履修に必要な予備知識や技能							
固定がなぜ必要なのか、固定をすることでどんな効果が得られるのか、またはどんなリスクを伴うのかなどの想像力が必要である。そのためにも、最低限の外傷への知識や身体の構造についての知識が必要。							
教科書・参考書							
教科書:『包帯固定学』改訂第2版 南江堂							
受講上の注意							
実技授業なので、白衣を忘れないこと。必ず授業前に着替えて着席していること。白衣は常に清潔であること。身だしなみ、挨拶、準備、後片付けに気を配りすること。スマートフォンやタブレット等の電子機器の使用は厳禁。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)		40		60			100
実技試験実施要項							
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	固定法について				白衣、サンダル、筆記用具、包帯、教科書		
第2回	固定材料、包帯の取扱い				白衣、サンダル、筆記用具、包帯、教科書		
第3回	基本包帯法				白衣、サンダル、筆記用具、包帯、教科書		
第4回	基本包帯法				白衣、サンダル、筆記用具、包帯、教科書		
第5回	基本包帯法				白衣、サンダル、筆記用具、包帯、教科書		
第6回	基本包帯法				白衣、サンダル、筆記用具、包帯、教科書		
第7回	基本包帯法				白衣、サンダル、筆記用具、包帯、教科書		
第8回	基本包帯法のチェックテスト				白衣、サンダル、筆記用具、包帯、教科書		
第9回	冠名包帯法				白衣、サンダル、筆記用具、包帯、教科書		
第10回	冠名包帯法				白衣、サンダル、筆記用具、包帯、教科書		
第11回	冠名包帯法				白衣、サンダル、筆記用具、包帯、教科書		
第12回	部位別包帯法				白衣、サンダル、筆記用具、包帯、教科書		
第13回	部位別包帯法				白衣、サンダル、筆記用具、包帯、教科書		
第14回	厚紙副子を使用した部位別包帯法				白衣、サンダル、筆記用具、包帯、教科書		
第15回	石膏ギブスを使用した部位別包帯法				白衣、サンダル、筆記用具、包帯、教科書		
第16回	キャスト材を使用した部位別包帯法				白衣、サンダル、筆記用具、包帯、教科書		
第17回	キャスト材を使用した部位別包帯法				白衣、サンダル、筆記用具、包帯、教科書		
第18回	部位別包帯法の復習				白衣、サンダル、筆記用具、包帯、教科書		
第19回	部位別包帯法の復習				白衣、サンダル、筆記用具、包帯、教科書		
第20回	試験				白衣、サンダル、筆記用具、包帯、教科書		
第21回	評価、復習				白衣、サンダル、筆記用具、包帯、教科書		
実務経験と本講義との関連について							
柔道整復師として、接骨院勤務、整形外科勤務、スポーツトレーナーを経験。研修会や接骨医学会に所属。以上の経験を基に基本の包帯技術を指導します。							
メールアドレス							
e.ito@nihonisen.ac.jp							